

平成30年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
多角化経営部門

廃校を利活用した総合的な教育ファーム事業を柱に経営を展開

○氏名又は名称 株式会社あいあいファーム（代表 木村 修）

○所在地 沖縄県国頭郡今帰仁村

○出品財 経営（野菜・農産加工）

○受賞理由

・地域の概要

今帰仁村は、「やんばる」と呼ばれる沖縄本島の北部にあり、県都那覇市から北へ約85kmの場所に位置する。基幹産業は亜熱帯性気候を活かした農業であり、スイカ、輪ギク、小ギク、マンゴー、甘藷（サツマイモ）、肉用牛（子牛）は沖縄県から拠点産地として認定を受けている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

あいあいファームは、飲食店や食品宅配事業を営む親会社（株式会社アメニティ）の農業部門として平成21年に設立された農地所有適格法人である。今帰仁村の廃校を利活用し、生産部門だけでなく加工部門、販売部門及び農泊を含めた総合的な教育ファーム事業を柱に経営を展開する等、異業種からの農業参入として発展を続けている。

・受賞者の特色

（1）総合的な教育ファームとしての取組

今帰仁村内の耕作放棄地を整備し、果物や有機JAS認証を取得した野菜、島大豆、小麦の栽培に取り組みとともに、ジャムやドレッシング、パン等合計約60点にも及ぶ加工品開発・販売を行っている。これらは、施設内の直売所や農家レストランで販売・提供するほか、学校給食、病院の社食及びレストラン等にも納品しており、地産地消を実現している。また、廃校の教室をリノベーションした宿泊施設を整備し、沖縄産小麦を使った沖縄そばの手づくり体験や食育講座、農業体験の開催等を通じ、国内のみならず海外観光客にも利用される施設となっており、沖縄の食文化の大切さとそれを支える農業の価値の継承に取り組んでいる。

（2）今帰仁村活性化への貢献

直売所の利用者数は年間約2万人、レストラン・食育部門における観光客数等は年間約5万人と、過疎化が進む今帰仁村において農村観光施設として地域の活性化に大きく貢献している。また、社員寮を完備するなど若年移住者確保にも配慮し、従業員39名の雇用を実現している。さらに、加工品の原材料を、自社農産物以外にやんばるの農家からも調達するなど、地域農業者の所得向上にも寄与している。

・普及性と今後の発展方向

農泊推進や6次産業化を目指す事業体への研修プログラムの開発・提供、廃校の利活用事例としての視察受け入れ等、農業における多角化経営のモデルケースとして他事業体への横展開にも積極的に取り組んでいる。今後は、体験用フルーツガーデンの整備やそれに合わせた加工商品の開発、平日のインバウンド利用の定着等を目指す。